

企業ニュース 日本M&Aセンター

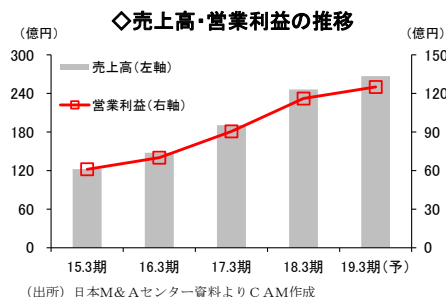
(東証1部：2127) <https://www.nihon-ma.co.jp/>

作成者：村上大志

中堅・中小企業のM&A仲介に特化

1991年設立。M&A（合併・買収）業務を通じて企業の存続と発展に貢献することを経営理念とし、中堅・中小企業に特化したM&A仲介事業を行う。全国各地の地方銀行や信用金庫、会計事務所等と提携しており、国内最大級のネットワークを持つことが強み。また、業界最多の300名以上のM&A専門コンサルタントが社内に蓄積された膨大なM&Aデータベースを活用することで、高品質なサービスの提供を可能としている。M&A成約件数は2013年から2018年の5年間で約3.2倍に増加し、譲渡案件受託数[※]も順調に拡大している。

※譲渡案件受託数：譲渡希望企業から依頼を受け、成約に向けて業務遂行中の件数。（非専任や子会社アンドビズの案件は含まず）



第3四半期累計の成約件数が過去最多を更新

19.3期・第3四半期累計（4-12月）の連結業績は、売上高が227億円、前年同期比14%増、営業利益が108億円、同5%増。M&A成約件数は605件、同+74件と第3四半期累計として過去最多。業種は調剤薬局や建設関連、小売、製造、サービスと多岐に渡り、地域的にも全国規模となっている。コンサルタント人数は前年同期末の250人から80人増加し330人となった。新卒、中途採用ともに順調である。一方、増員による人件費増で営業利益率は47.7%、同4.2ポイント悪化した。

19.3期の会社計画は、売上高が267億円、前期比8%増、営業利益が125億円、同8%増。経営者の高齢化による事業承継問題や業界再編、労働力不足などの理由から企業譲渡が増加しており、当社にとり事業環境は良好である。コンサルタントの採用や情報網の拡充、他企業との提携など事業規模の拡大に向け順調に進んでいる。子会社のアンドビズが提供するオンライン事業承継マッチングサイト「Batonz」の累計ユーザーは2万人を超え、成約件数も増加傾向で今後の拡大が見込めよう。大型案件の有無による業績変動には留意が必要だが、国内最大級のネットワークを活用した案件の積み上げによる強固な収益基盤は継続している。

[株価動向・投資判断]

M&Aに関する総合企業を目指した事業拡大が続いている。中長期的に成長が期待される銘柄の1つとして着目できよう。

<2127 日本M&A 業績:日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.3	19,069 (29)	9,046 (29)	9,070 (27)	6,174 (28)	77.2	44.50
18.3	24,625 (29)	11,605 (28)	11,670 (29)	8,146 (32)	101.6	41.00
19.3 予	26,700 (8)	12,500 (8)	12,500 (7)	8,460 (4)	52.6	22.00

(注) 18年4月1日付で普通株式1株に付き普通株式2株の割合で株式分割を実施。



[主要株価指標] (売買単位：100株)	
株価(2019/3/11)	2,787 円
昨年来高値(高値日)	3,830 円(18/4/9)
同 安値(安値日)	2,029 円(18/12/26)
予想 P E R (19.3 予)	53.0 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	160.2 円
P B R	17.40 倍
予想配当利回り	0.79 %
(1株当たり配当金年22.00円)	
R O E (18.3)	42.8 %
発行済み株式数	16,386 万株